

ごみ総合対策課の事業見直し 結果一覧（令和3年度以降）

No.	事務事業名	事務事業概要・見直しの内容等
1	集団回収事業 [令和3年度当初予算額] 27,068千円 [令和2年度当初予算額] 34,823千円	資源の有効活用、ごみ減量及びごみ問題に対する市民の関心を高めるため、市内の住民団体等による集団回収事業に対して支援を行う事業。 ○新型コロナウイルス感染症の拡大により市税の大幅な減収が見込まれ、事業の見直しが必要となる。 ○他自治体と比較して本市の団体への補助金は高い水準にあることから、令和3年度から以下のおり見直すこととした。 補助金額単価… 1kgあたり10円→ 8円 事務費補助 … 年額4,000円 → 廃止
2	朝一番隊 [令和2年度当初予算額] 2,675千円 [有償ボランティア単価] 1,500円/回(世話人) 1,000円/回(一般)	吉祥寺、三鷹、武蔵境の三駅周辺について、毎週日曜日の早朝に実施する、市民の有償ボランティアによる清掃活動。 ○新型コロナウイルス感染症の拡大により市税の大幅な減収が見込まれるため、事業の見直しが必要となる。 ○地域・商店街の自主的ボランティア清掃等によってまちの散乱ごみが減ってきていることもあり、令和2年度をもって廃止とした。 【代替事業】 駅前周辺清掃委託、マナー推進員
3	市内一斉清掃 (ごみゼロデー・ 市内全域一斉清掃) [令和3年度当初予算額] 730千円 [令和2年度当初予算額] 1,133千円	ごみの散乱防止・地域環境美化の意識の普及・高揚を図ることを目的として、市民・事業者を集めて行うボランティア清掃。 ○新型コロナウイルス感染症の拡大により市税の大幅な減収が見込まれ、事業の見直しが必要となる。 ○地域・商店街の自主的ボランティア清掃等によって年々回収ごみ量が減少していること、参加者が減少していること等から、令和3年度からごみゼロデーを市内全域一斉清掃に統合することとした。 【代替事業】 駅前周辺清掃委託、マナー推進員、環境啓発事業
4	家庭から出る土・油の 拠点回収資源化事業 [令和2年度当初予算額] 1,562千円 [廃食用油売払い見込額] 約3,000円 (約1,000L×3円/L)	家庭で不要になった、園芸用の土と廃食用油(植物性)の無料回収。2か月に1回、市内のコミュニティセンターや市役所庁舎において実施。 ○新型コロナウイルス感染症の拡大により市税の大幅な減収が見込まれ、事業の見直しが必要となる。 ○既存の土回収資源化事業者・油回収資源化事業者がどちらも令和2年度限りで撤退し、それに代わる事業者が無い。また、都内で土・油について無料回収し資源化を実施している自治体が少ないこと等から、令和2年度をもって廃止とした。 【代替】 土…民間回収業者(2業者)を紹介 油…市内3カ所の民間回収場所を案内
5	武蔵野市ごみアプリ [令和2年度当初予算額] なし(株むさしのEサー ビスが契約・負担)	ごみの分別方法や収集日の確認、環境イベントの情報発信などの機能を持つスマホ用アプリ。 ○秘書広報課が令和2年11月16日にリニューアルした武蔵野市公式LINEアカウントに、ごみに関する機能を持たせたため、利用者に移行の案内をした上で、令和2年度をもって公開(新規ダウンロードやアップデート)を終了した。 【代替事業】 武蔵野市公式LINE